

令和3年度 門真市立総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和2年度

施設のサービス水準の視点コメント

オープン後4年目の令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に苦慮しながらも、開館期間中、自主事業等の継続と感染対策の両立に取り組んだことを評価した。
一部の施設（部屋）の稼働率が低いことについては、引き続きその活用に向けた取り組みを期待する。

収支状況 コメント

収入については、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館・時短営業の影響により、年間利用者数目標・利用料金収入が大幅に減少しており、支出については館内外全扉開放による光熱水費の増大や施設老朽化による修繕料等が前年度より増加しているため、今後の収支改善を期待する。

感染症対策 コメント

本市の新型コロナウイルス感染症対策の拡大防止にかかる要請について、速やかに対応できていた。
また、開館中においても従業員への指導はもちろん、利用者に対しても丁寧に説明を実施し、各所に対策をお願いするポップを掲載するなど、クラスターの発生もなかった。特に、トレーニングルーム等、多数の個人利用における利用者が活動する場所においては、利用者ごとの対策意識の違い等による個別の対応とルール化を適切に行っていたことは今後も継続を期待する。
イベントについても、感染対策を行いつつ、利用者ニーズに応じて開催できており、良好であると評価した。

市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果から、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は、高い評価を維持することができており、市が期待する施設運営がされていると判断する。
イベント集客が難しい状況において、かどま市春季スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、十分なソーシャルディスタンスを確保しつつ、有名人の協力を得たスポーツ教室の開催など、本市社会体育と青少年の健全育成の観点でも、貢献することができたものと認識する。
今後は、施設の新型コロナウイルス感染症対策に取り組むつつ、施設の利用方法や運動の体験動画など、本市社会体育の継続に寄与するオンライン配信などについても積極的に取り組まれることを期待している。
これらの理由により、概ね協定施行等の水準どおり施設運営がされていると判断し、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった